

あなたの使命とは(30)「性的誘惑とクリスチャン」

メッセージノート (2023.7.16)

エペソ5:3-7³ あなたがたの間では、聖徒にふさわしく、淫らな行いも、どんな汚れも、また貪りも、口にすることさえしてはいけません。⁴ また、わいせつなことや、愚かなおしゃべり、下品な冗談もそうです。これらは、ふさわしくありません。むしろ、口にするべきは感謝のことばです。⁵ このことをよく知っておきなさい。淫らな者、汚れた者、貪る者は偶像礼拝者であって、こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。⁶ だれにも空しいことばでだまされてはいけません。こういう行いのゆえに、神の怒りは不従順の子らに下るのです。⁷ ですから、彼らの仲間になってはいけません。(新改訳)

◆ 今日の課題:

- a. 今日、性に関する考え方は、多種多様であるとともに、個人の問題であるがゆえに、互いに沈黙し合う傾向があるが、性は、私たちの人生に深い影響を及ぼしている。
- b. パウロは、「神の子」とされた私たちが、これからどんな人生を生きていけば良いのかということについて語るのに、まず、この「性」の問題を取り上げ、現状を理解しつつ具体的な方策を提供している。

◆ 現状

1. 現代は、「性」に関して過去と比べて進歩したか、退歩したか？
 - ・ 聖書の教えは時代遅れか？
 - ・ 1世紀のローマ社会の状況(パークレイ『エペソ書註解』)、中世の状況(トゥルニエ『女性であること』)
 - ・ 「空しいことば」(6):当時の流行していた「グノーシス主義」の教会への影響；
 - ・ 現代:絶対的相対主義「私のすることに口出しするな!」、多様性や寛容の名の下における不寛容
2. 性的誘惑の現状(3)
 - ・ 「淫らな行い(ポルネイア)」:もともと配偶者以外の者との性的関係を結ぶことを意味したが、そこから、不道徳な性的関係を表す言葉となった。
 - ・ 「汚れ(アカサルシア)」:ひと段階悪化し、婚内外を問わず、セックスを遊び、金儲け、エンターテインメントなどとして捉え、性を夫婦間の愛情表現、また祝福としての生殖ではなく、物理的、身体的なものとしか見なさない。
 - ・ 「貪り(プレオネクシア)」:さらに悪化し、自分の欲望の為には手段は選ばないというところへ進む。
エペソ 4:19「無感覚になった彼らは、好色に身を任せて、あらゆる不潔な行いを貪るようになっていきます」の「貪る」と同じ言葉。「十戒」の他人の妻を欲しがってはならないとも軌を一にする。
 - ・ 婚外交渉から出発した問題が悪化していくと、人はセックスに耽溺し飲み込まれ、いつしかそれが偶像と化す。あたかも、誤った宗教(カルト)にはまってしまうようである。→「偶像礼拝者」(5)

◆ 解決策

1. 感謝の心を育てる

- ・ わい談ではなく感謝の言葉を口にする
下品な言葉の反対は、上品な言葉だが、パウロは「感謝」をその対抗措置として挙げているところに注目。
- ・ 心は何で溢れているか？

感謝は、神に心が向いていることの証拠。もし感謝の思いがないなら、要注意。なぜなら、神に心が向かっていないで、他のところに心の満たしを求めているからだ。神以外のところに心の満たしはない。

- ・ どうしたら感謝の心をキープすることができるのか？

1 日の中で、立ち止まって自らを振り返り、また神のみ手を確認する時間を確保すること。

✚ どうしてダニエルは、1 日に 3 度も主に向かって祈っていたのか？よっぽど暇だったからか？それとも、そうしなければ感謝の心を持つことができなかつたからだろうか？

- どうしたらあなたは神の恵みで心が感謝で満たされ続けることができると思うか？

2. 偶像を捨て、本物をつかみ取る

- ・ 与えられた自由を神のために用いる(自分の欲望のためではなく)

クリスチャンは、罪の責め苦から解放され自由になったが、その自由をどのように用いるのが大切。しっかりと神の国実現という目標を目指して歩んでいないと、サタンに騙されかねない。

- ・ 「キリストと神との御国を受け継ぐ」(5):過去の清算(贖い)をいただいた私たちは、最高のご褒美である「御国」を受け継ぐ途上にあるのだということを忘れない。

✚ 「タラント」や「ミナ」のたとえ話が教えていることは、この地上は将来の準備期間であるということ。

✚ 尊い「割り込み」による違和感は、神の国に向かっているかどうかを振り返るベクトル合わせ。

✚ 性的願望が生じる時、自分を楽ませるのか、御心に叶った生き方をするのかを振り返る機会。

- ・ 「高き所は取り除かなかつた」:高き所とは、外国からのエキゾチックな妻たちが持ち込んだ神々で、多くの場合、神殿巫女たちであった。宗教改革を積極的に行つた王たちでも、この部分は徹底できなかった。

3. 仲間を選ぶ

- ・ 「朱に交われれば赤くなる」:誰と時間を過ごすのか？

1 コリント 15:33 思い違いをしてはいけない。「悪いつきあいは、良い習慣を台なしにする」のです。

箴言22:24-25 ²⁴ 怒りやすい者の友になるな。激しやすい者と交わるな。²⁵ 彼らの道に親しんであなたの魂を罫に落としてはならない。(新共同訳)

- ・ 支え合う仲間の重要性

箴言 17:17 本当の友はどんな時にも愛し合い、兄弟は困つた時にこそ助け合う。(現代訳)

箴言 27:17 鉄で鉄を研ぐように、人の心も他の人との心の触れ合いによって成長する。(現代訳)

箴言27:5-6 心を開いて率直に忠告する方が、嫌なことを何も言わずに付き合うよりも良い。敵は心にもなく口づけしてもてなすが、友達は、たとえ傷つけても、それは真実から出ているのである。(現代訳)

ヤコブ 5:16 互いに罪を告白し合いなさい。癒されるためです。

- church with small group ではなく、church of small group 私たちはそのために教会をしている。

◆ まとめ

- ・ 日々感謝の心に満たされて生きていくために、どんなことができるだろうか？
- ・ 聖書は、私たちが性的に弱さを正直に認めて、互いに支え合つて生きることを勧めるが、あなたはそのことをどのように始めるか？
- ・ あなたが、「高き所」を取り除くことが難しい理由はなんだと思うか？
- ・ そのことを互いに告白し合うことの重要性について、どこまで実感しているだろうか？